

Mランドニュース Vol. 87

丹波ささ山校 平成26年6月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県篠山市池上569
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 井本 徹
<http://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

《今月の言葉》

もともと、世の中に、
雑用というものはありません。
雑な心でするから、
雑用になるだけのことです。

鍵山 秀三郎氏

サイクルフェスタ二〇一四

五月二十四日(土)、晴天の下、Mランドサイクルフェスタ二〇一四を、開催させていただきました。

今回のテーマは『みんなで二輪を楽しもう！』です。午前の部は、自動二輪セーフティスクールで、皆さんご自慢のバイクと共に参加され、「ブレーキ」を課題に実施し、スピードコントロールの大切さをあらためて理解されておられました。スキルアップもさることながら、真剣に取り組むその姿勢から、安全意识も向上されているようでした。



課題説明を聞く参加者

午後の部は、バイクの「楽しさ」を知っていただくことと、体験乗車会を実施しました。車体に囲まれて走る四輪車に対し、エンジンの鼓動と風を体で感じて走るバイクの楽しさは、言葉では言い表せない

い感動があります。この体験を通して、バイクを愛する仲間が増えることを願っております。



風を感じる体験乗車

その後、自転車と原付バイクの安全教室を、同時開催しました。市内の小学生を対象にした自転車教室では、日頃の運転でやりがちな危険な運転を目の前で再現し、「どうすればよいか？」を考え、安全に運転することの大切さを知っていただきました。



自転車教室(左)と原付教室(右)の様子

一方、原付バイクは安易に右左折する危険性について、今回は「横断歩行者」を焦点に、安全な方法と気配りを体験しました。最後に両者入り混じっての走行で、「譲る」ことの大切さを学びました。自転車教室を終了された小学生には、「自転車運転免許証」をお渡ししました。安全に運転する気持ちが形となった「免許証」を、宝物のように手にされていたのが印象的でした。「安全に運転した一年後には、ゴールド免許にしよう！」というスタップのかけ声に、やる気満々の笑顔でした。



来年はゴールド免許だよ

これからもサイクルフェスタを通して、バイクに乗る「楽しさ」と「命を守る大切さ」を、地域の皆さまと共に学んでまいります。

多くの方に参加していただき、また、開催にあたり篠山市教育委員会をはじめ、

各関係機関よりボランティアでご協力いただいた皆様にご感謝申し上げます。ありがとうございました。

ライダーチームリーダー
南勝 宏幸



午後の部の皆さんと記念に一枚！

手話を学ぶ

手話のほんの一部を教えていただいただけですが、これも使わないと忘れてしまいます。さっそく、手話講習を終えたインストラクター室では、笑顔で覚えただけの手話が飛び交っていました。

毎月、Mランド手話チームのメンバーで講師の大内様から教えていただいておりますが、五月十八日、朝の一時、大内様と「手話サークル」ささやま「白井様のお二人をお招きし、全職員で手話講習を実施させていただきました。

まず、ろう者にとって手話というのは言語であり、健常者にとっての音声言語と同じであるということを、説明し

ていただきました。そして、コミュニケーションの基本となるあいさつの手話を教えていただきました。普段行なっているあいさつも、手話でしようとする頭で考えてしまいが、みんな一所懸命です。つぎに教習用語についての手話です。大内さん自身、免許取得の際に、教習指導員が手話をできなかったため、後部座席に通訳する人を介しての教習で、大変苦労されたとお話されました。また、このように手話を覚えていたただけなのは、本当に嬉しいとのことでした。

手話チーム 前川 昂希

八上小学校掃除に学ぶ会

五月二十七日、六年生を対象とした、「トイレ掃除に学ぶ会」を行いました。

卒業を前にした六年生が二月にトイレ掃除をしたことを、Mランドニュースでもお知らせしました。その後、「在校生のトイレの使い方、掃除の仕方が少し変わって来ました」と森田校長先生。学ぶことが多いトイレ掃除を今の六年生にもということを実施させていただきました。

開会では、一、しゃべらない(集中する)、二、道具を大切に使う(思いやり)、三、便器をしっかりとつかむ(気持ちこめて)の、三つの約束をお話しました。



開会のようす

篠山掃除に学ぶ会のリーダーのもと、三つのグループに別れて開始です。まずは使い易いように道具を並べてか

ら、協力して隅々までゴミを掃き集めます。ここからです。リーダーがスポンジで便器の磨き方を説明すると、「うわー！」と驚きのこえが聞こえます。いつもの仕方と違いますので。

いよいよ便器と向き合います。最初はおそろおそろの姿も、ひとたびスイッチが入れば、身と心が便器に近づいていくのです。身を低くし床を磨き、タオルで拭き取ります。使った道具をきれいに戻すことも、次の掃除につながる大切なことです。約一時間かけて磨いたトイレは、とてもさわやかな空気が流れていました。



便器の奥までしっかりと！

掃除を終えて皆さんは、隅の汚れに気付いた。ここまでやるとは思わなかった。
 ・気持ちよくなった。
 ・汚さないように使いたい。
 ・最初はいやだったけど、だんだん慣れてきた。

などの感想発表がありました。



感想発表の様子

一人ひとりに光る個性があるように、気付きや思いも違います。このトイレ磨きが、これからの生活で、何かいい影響になってもらえたらと思います。

おかげさまで

五月二十七日、Mランド丹波さき山校は五十二周年を迎えることができました。これにともない社内において、記念式典を執り行なわせていただきました。

冒頭、小河会長のあいさつで、ガソリンに頼っている車社会から、バイオマス燃料(植物資源などを加工して作る燃料)を利用し、自動車を走らせるというもの考案や、岡山県真庭市の企業が、市の電力をバイオマス燃料でまかなおうとする例

などをあげられ、化石燃料に頼らない、地域と地球の環境に優しい社会づくりを、これからの時代、Mランドも画期的に考え方を変えなければいけないとお話しされました。



小河会長のあいさつ

引き続き、基調講演としてトライアスロン チームブレイン監督 八尾彰一様より、「自分を育ててくれた人々」について、中学、高校、大学、トライアスロンの道へとつながる人々との出会い、過酷なスポーツの世界で出会った人々から影響を受けたご自身の体験談をお聞きました。

そのひとり、かのシンガーソングライター 高石ともや氏からは、「苦しいことを楽しめ」、「苦しきの中から、人の共存が生まれる」などの、自分の核となることばを聞かれたとのこと。決して強い自分であった訳ではなく、いくつかのターニングポイントで人に出会い、支えられ今の自分

があり、努力によって「奇跡」は起きるものではなく、起こすものだ」と締めくくられました。これはトライアスロンだけのことでなく、「Mランド人としての姿勢」と同じだと聞かせていただきました。



熱く語られる八尾様

九年前、Mランド丹波さき山校となり、益田校で受けた感動に涙したことを思い出しました。日本一の教習所をめざして、気持ちを新たに仲間と取り組んでまいります。

サービスチームリーダー 谷口 健

『掃除に学ぶ会』のご案内

私たちと一緒にトイレを掃除しましょう。

6/ 8(日) 八上小学校 東トイレ (AM8:00~9:00)

6/22(日) 篠山中学校 屋外トイレ (AM8:00~9:00)

※参加していただける方は 井本までご連絡ください。

今月のありがとうカード

Mランドの皆さま

卒業生の私たちをあたたかく迎えてくれて、ありがとうございました。三月に卒業したのに、覚えてくださっているインストラクターさんがたくさんいて、すごく嬉しかったです！「また、帰って来たい」そう思いました。今日は電車で来たので、今度は自動車で乗って、運転している姿を見てもらえたら、と思っています。

大阪からサイクルフェスタに参加していただいた、山本 千晶 様

編集後記

五月は、サイクルフェスタ、手話講習、八上小学校六年生掃除に学ぶ会、そして創立五十二周年と、多くの人の関わりをいただきました。人に支えられ、成長させていたでいる、まさにそれを実感した月でした。一つひとつの経験は、更にもっとを創るステップとして、取り組んでまいります。(徹)